

「学校が大好きだったので、学校を職場にしたかった！」

(安藤優さん)

■家庭科教諭をめざそうと思ったきっかけは何ですか？

もともと学校が大好きで「学校を職場にしたい！ 学校で仕事をしたい！」と中学生の時から思っていました。どの教科の先生になろうかと考えた時に「教えるなら全生徒のためになることを教えたい」と思い、「家庭科は生きる力に直結する教科だ！」と思って家庭科の先生になることを決めました。

■大学の学びで、どのような授業が印象に残っていますか？

模擬授業が一番、印象に残っている授業です。それまでは「講義を受ける」という意識で授業を受けていたのですが、「実際に自分で授業を考え、人を相手に授業をする」という学びは、どの授業よりも私にとって濃い時間だったと思います。

■教員採用試験に向けて工夫した点を教えてください

県民プラザや生涯学習センターなどに行って、「無理やり勉強をしなければならない環境」に自分を置いて、とにかく勉強しました。

■どのような教員になりたいですか？

教えた生徒たちに、一生のうちに一回でも「家庭科でこれをやっておいてよかったな、役に立ったな」と思ってもらえる授業をしていきたいと思っています。教員としては常に生徒の目線に立って、生徒の立場に寄りそった先生という存在でいたいです。みんなで昼休みに恋話とかしたい！（笑）

■将来の夢

「毎日、幸せだー！」と家族全員が思ってくれる家庭を築くこと。

■後輩たちへのメッセージ

後輩にメッセージなんてできる立場ではないと思いますが、将来、和洋女子大学出身の人と同僚になれたら嬉しいと思います。その時はよろしくお願いします！